

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会会報

全溶連

令和4年1月 第199号 www.zenyoren.com/

●全溶連 みんなで創ろう 新たな未来
●新時代 つないでいこう 保安意識



第12回 写真コンテスト優秀作品

「鬼怒楯大吊橋からの絶景」

斎藤芳弘 様

(株式会社サイサン 関東LPG保安C)

深尾会長年頭挨拶	2	単位組合紹介	9
表彰	3	委員会報告	10
第29回保安対策連絡会議	4	賛助会員の広場	13
写真コンテスト		川柳募集のご案内	14
佳作作品お知らせ	8	お知らせ	15

令和4年 会長年頭挨拶

一般社団法人
全国高压ガス溶材組合連合会
会長 深尾 定男



明けましておめでとうございます。高压ガス並びに溶材業界の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より全溶連の事業活動に対しまして格別のご指導ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の第4波、第5波により社会的、経済的な混乱が広がり、企業活動にも大きな影響がありました。また、働き方においても、飛沫感染や接触感染を避けるため、テレワークや時差出勤を採用する企業も増え、オンラインを駆使した会議も導入され定着しつつあります。

全溶連では、感染拡大防止の観点から、昨年6月の総会を書面による決議とし、各委員会活動においても一堂に会しての開催を控え、対面とオンラインによるハイブリット形式による会議や書面等での対応と致しました。また、本年6月に全溶連総会を東京で開催することとし、当初予定していた九州大会は来年に延期することと致しました。

なお、例年各地域で開催されている消費者保安講習会の開催状況ですが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催を中止せざるを得ない等、保安の啓発について活動面での制約がありました。本年につきましても、昨年来の変異株発生の影響によりコロナ禍終息の兆しは未だ見えないことから、引き続き緊張感をもって感染防止に努めつつ、活動を継続して参ります。

さて、近年、台風による河川の氾濫、土砂災害などの自然災害が頻度・規模ともに拡大し、これまでの常識が通用しないレベルの災

害が多く発生しています。全溶連では今後とも引き続き河川の増水に伴う高压ガス容器の流出等、社会的不安を解消すべく日本産業・医療ガス協会と協力して対策の徹底を図って参ります。

高压ガスは人々の生活だけでなく産業用、医療用など多種多様な用途に利用され、防災対策上も必要不可欠な資源です。災害時には、業界全体が安定供給と保安確保に支障をきたすことのないよう、被災情報の収集など、関係機関との連携強化が必要です。

全溶連は高压ガス消費者と直接結びついて全国組織として、消費先における取扱いガスの特性や機器の使用法の再確認、高压ガスの保安確保のための設備点検等、自主保安体制強化について引き続き啓発活動を行って参ります。具体的には、毎年11月に溶接関連団体による「保安対策連絡会議」を開催し、保安意識の強化、設備点検の推進等、保安啓発活動を行っております。加えて、放置容器、停滞容器の危険性を重視した取組として、関係団体と協力し、事故発生防止と保安の確保、容器の効率的な運用を促すべく、高压ガス容器全国一斉特別回収を実施しております。さらには、保安文書の改訂や新規発行など各種保安資料の提供を通じ、消費者保安の確保に向けた活動も実施しております。本年も引き続きこうした活動にしっかりと取り組んで参る所存でございます。

年頭にあたりまして、皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げますとともに、引き続き全溶連の活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

栄えある受賞 おめでとうございます

2021年第58回高圧ガス保安大会（東京・港区ANAインターコンチネンタルホテル東京）が10月29日（金）に開催され、今年度における高圧ガス保安経済産業大臣表彰を始めとする各表彰者のうち全済連会員多数の方が表彰されました。

経済産業大臣表彰

優良製造所

高圧ガス工業株式会社 千葉工場（千葉県）

優良販売業者

イツモ高圧株式会社（栃木県）

有限会社山手酸素商会（東京都）

保安功労者

玉木義裕氏 有限会社大玉溶材（三重県）

優良販売主任者

戸田 毅氏 戸田興業株式会社（神奈川県）

岡田保蔵氏 有限会社岡傳（兵庫県）

高圧ガス保安協会会長表彰

優良製造所

山陰酸素工業株式会社 米子支店（鳥取県）

優良販売業者

イワタニ東京ガスセンター株式会社（千葉県）

日酸 TANAKA 株式会社 関東支店（東京都）

保安功労者

菅原 淳氏 東海産業株式会社（千葉県）

田村 圭氏 株式会社マルサン（新潟県）

横山正一氏 有限会社横山酸素店（長野県）

岩城 宏氏 株式会社東和溶材（愛知県）

中森信輔氏 株式会社泉産業（京都府）

山田吉盛氏 株式会社ヤマックス（長崎県）

津田龍平氏 長崎県高圧ガス保安協会（長崎県）

優良販売主任者

葛上真一氏 カンサン株式会社（群馬県）

安藤 博氏 株式会社マルホン 高崎支店（群馬県）

保安功績者 A

志田勝広氏 エア・ウォーター北海道株式会社（北海道）

保安功績者 B

堀 章一氏 有限会社堀商会（神奈川県）

第29回 保安対策連絡会議

2021年11月19日（金）メルパルク東京において業界関係者による第29回保安対策連絡会議が行われました。

出席者 （一社）日本産業・医療ガス協会
（一社）日本溶接協会ガス溶断部会
日本乾式安全器工業会
（一社）全国高圧ガス容器検査協会
高圧容器工業会
（一社）全国高圧ガス溶材組合連合会

業界誌関係

前田常務執行役員
染谷事務局員
西田会長
伊藤常任理事
小寺事務局長
深尾会長、大岡保安委員長、鈴木保安副委員長
佐藤経済委員長、廣瀬経済副委員長、事務局2名
計12名（敬称略）
産報出版(株) 1名、新報(株) 1名

「本日の開催にあたっては、昨年同様、新型コロナウイルス感染対策の一環として、ソーシャルディスタンスを確保、マスクの着用、消毒の徹底について、皆様にご協力をお願いしております。



深尾会長

本会議も平成5年以来、毎年の開催を重ね、今回で29回目を迎えることが出来ました。

これもひとえに、関係団体ならびに会員の皆様方のご理解ならびにご協力の賜物と感謝申し上げます次第である。

さて、コロナ禍ということもさることながら、近年では異常気象による河川の氾濫、土砂災害などの自然災害が頻発するとともに、これまでの常識では予測出来ないレベルの被害が発生している。

全溶連では、河川の増水に伴う高圧ガス容器の流出等、社会的不安を解消すべくJIMGAと協力して対策の徹底を図って参りたい。

高圧ガスは産業用、医療用の分野に加え、防災対策上も必要不可欠な資源であります。災害時において高圧ガス業界全体が、安定供給と保安確保に支障をきたすことのないよう、災害規模に応じた適切な対応はもとより、被災情報の収集など、関係機関との連携強化が求められています。

全溶連は、全国の消費者の窓口である販売店の組織として、高圧ガスの保安の確保、ならびに、自主保安体制の構築によって、消費者の皆様が保安意識を更に強化され、高圧ガスの設備の日常点検を行っていただくよう啓発している。しかしながら、コロナの影響により各地域における消費者



保安講習会の開催を中止せざるを得ない地域もあり、保安啓発の活動面での制約を受けている。

一方、全溶連とJIMGAでは、放置容器の危険性を重視し、高圧ガス容器回収、早期返却、契約推進に関する啓発のために、今年も10月に高圧ガス消費事業所向けのポスターを全国の会員各社のお客様に配布し、放置容器回収運動に取り組んでいる。

また、今月は危険物運搬車両に対する指導取締りが行われます。コロナ禍であります、感染防止対策をしっかりと行ったうえで、保安活動に注力して参りたい。

最後になりますが、本日は限られた時間ではあるが、皆様から忌憚のないご意見を頂戴し、今後の保安対策に盛り込んで参りたい。」と深尾会長が挨拶を行った。

次いで本日、会議進行役の佐藤経済委員長より「本日は貴重な時間を割いて保安対策連絡会議に出席頂きそれぞれの団体の方々から活発なご意見、ご助言を頂き、今後の全溶連の運営に活かせるようにしたい。」との挨拶の後、議事に入った。

最初に報告事項ということで前年度議事録の確認、消費先における容器事故の分析と容器処理事

業の実施状況に関する報告を行った後、各団体における保安活動、事故対策の取り組み及び問題点について意見交換を行った。

◇全国高圧ガス溶材組合連合会

- ・周知文書は毎年4月に発刊しており、今年も2021年度版を作成し245千部を利用頂いている。2021年度における周知文書（溶接・溶断高圧ガス向け）の添付資料（2021年度版周知文書）に基づき説明を行った。
- ・放置容器特別回収は毎年10月1日～10月31日の1ヶ月間実施しているが、高圧ガス保安協会・中央容器管理委員会／JIMGA／全溶連／日本ソーダ工業会／日本フルオロカーボン協会／日本肥料アンモニア協会の推薦団体により毎年ポスターのデザインを変え作成し、回収に取り組んでいる。（2021年度版高圧ガス容器特別回収月間ポスター（A4版）を紹介）

不明容器、停滞容器、放置容器の特別回収は昭和62年より実施しており今回で34年目となる。

ポスターについてはJIMGA・全溶連にてポスター4,400枚を作成し販売店に配布している。

回収結果については各地域からの報告を取り纏めている最中であり、11月末頃には集計が完了する予定である。

また、今年度は、全国一斉特別回収ご協力をお願い文において、「溶解アセチレン容器をお取り扱いの皆様へ」と題し、アセチレン容器の製造から38年を経過した容器に「充填しない、販売しない、廃棄する」お願いをした。この真意は2006年3月までに製造された容器にアスベストが使用されており、それを長い年月を経て徐々に廃棄しようという計画に基づき15年が経過したが、未だに廃棄が進んでいない状況であることから「ご使用済み容器は、早期に納入業者に返却いただきますようよろしくお願い申し上げます」との文言を付記した。

- ・2020年度高圧ガス容器全国一斉特別回収結果報告

①ガス種別集計

放置容器：酸素440本、アセチレン393本、炭酸ガス112本、アルゴン87本他1,225本

不明容器：酸素209本、アセチレン208本、フルオロカーボン69本 炭酸ガス他

645本

放置&不明：酸素649本、アセチレン601本、炭酸ガス171本、アルゴン93本他1,870本

②不明容器 ガス種別回収場所

解体・建設現場：83本（酸素31本、アセチレン40本、その他）

河川・山林：15本（酸素6本、アセチレン7本、その他）

公道・公園：2本（酸素1本、アセチレン1本）

容器置場（消費者）：424本（酸素139本、アセチレン112本、炭酸ガス55本、その他）

容器置場（ガス業者）：50本（酸素14本、アセチレン31本、その他）

駐車場他：68本（酸素16本、アセチレン16本、フルオロカーボン21本、その他）

合計 645本（酸素209本、アセチレン208本、フルオロカーボン69本、炭酸ガス59本他）

10リットル未満容器202本（酸素55本、アセチレン35本、フルオロカーボン36本、炭酸ガス48本他）

③エリア別回収本数（2020年度） 単位（本）

	放置+不明	長停容器	不明のみ
北海道	8	2,107	8
東北計	27	2,516	1
関東計	402	6,703	229
北陸計	8	349	3
東海計	45	6,619	19
近畿計	769	3,132	246
中国計	86	894	52
四国計	130	7,337	53
九州計	395	32,212	34
合計	1,870	61,869	645

④年度別放置および不明容器回収本数

	放置及び不明	不明のみ	不明率
2020年度	1,870	645	34.5%

- ・全溶連ホームページへの取り組み

従前のホームページは作成後10数年経過しており、掲載内容の見直しが迫られセキュリティ等に対しても低いレベルにあったことから、内容を充実すべく全面改訂を行い今年の1月より全面リニューアルを行った。今後追加すべきところもあるが、以前と比較していただ

れば使いやすくなっているなので活用願いたい。
又、スマホからのアクセスも可能となり利用いただきたい。

◇日本産業・医療ガス協会

JIMGAにおける保安活動、事故対策の取り組みについて

1. 災害対策の推進

自然災害発生時におけるBCP対策として下記内容を中心に検証中



日本産業・医療ガス協会 前田氏

①頻発する自然災害に対応

して、災害時における円滑かつ迅速な避難の確保及び災害対策の実施体制の強化を図るため、災害対策基本法等の一部が改正（公布：2021/5/10、施行：2021/5/20）され、その一部を保安セミナーに反映/周知

②近年、全国各地で水災害が激甚化していること等に対応し、国や流域自治体、企業・住民等、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」の実効性を高めるための「流域治水関連法（水防法、他）」が改正（公布：2021/5/10、施行：2021/7/15～）され、今後浸水想定区域を設定する河川数の大幅増を注視する必要がある。

③今後の理想とする充填所/貯蔵所における法的基準/リスク対策と必要項目を整理の上、「充填所/貯蔵所の新設/更新に関する指針」について、広く意見交換を実施し取りまとめ中であるが、今期中には作成したいと思っている。今年も各地で台風・豪雨による被害が発生しているが、これまでのところ各事業所での対応を頂き一般ガス容器の流出報告はないことから取り組み効果が出ていると考えている。

2. 保安強化で安全・安心・安定の追求

産業ガスに起因する高圧ガスの事故を特定のテーマに基づいて事故分析を行い、10数年前より取り組みを行っている。JIMGAのホームページにも掲載しており閲覧いただきたい。

今年度は、転倒・転落（容器取扱、通常労災）に係る事故分析を取り纏め。

今年度も新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、例年のような保安セミナーが開催できずにいる。これまで、九州地区のみで実施した

が他の地域は軒並み中止している。現在は、従来の方式に加え、オンデマンド方式の各種保安講習と併催し、保安力の向上に努めている。

3. 環境・エネルギー問題の継続的取り組み

①電力エネルギー関係

セパレートガスを製造する中で、電力多消費産業活動の一環として。電力料金単価の推移、および高止まりしている電力料金について、関係団体と連携し、国際的に割高水準であるエネルギーコストの最適化を求めている。

②地球温暖化対策関連として低炭素社会実行計画に参加し、エネルギー使用量の低減を進めながら、会員各社、関係機関の動向を定期確認する。

③省エネ法ベンチマーク制度：高圧ガス業界には適用されていないが産業界には広く取り組まされている。その中で、2030年、2050年に向けてカーボンニュートラルに今年度の経産省の委員会において、当業界もベンチマーク制度の導入に向けて検討の途中である。この提案を受けて、我々事業者の中で、セパレート事業者でASUを保有している事業者からどのような形で適用できるのか経産省と協力しながら導入のあり方を模索しているところである。

順調に推移すれば来年4月ごろからスタートできると思われる。各事業者の方々が省エネに対する取り組みを評価できるような仕組みを検討している。進捗状況がまとまればホームページに於いて公開することを考えているので見守っていただきたい。

◇日本溶接協会 ガス溶断部会

保安活動、事故対策の取り組みについて

1. 外国語版「ガス溶断器の点検のお願い」パンフレットの周知活動

ガス溶断器を対象とした「ガス溶断器の点検お願い」のパンフレットについて、英語、中国語（2種類）、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語版の計5ヶ国語を無料でダウンロードできるようにWebページに掲載している。

URL：http://www.jwes.or.jp/senmon/gs/archives/2020/10/post_6.html

また、各製造メーカーのキャンペーン等を通



日本溶接協会 染谷氏

じて「ガス溶断器の点検のお願い」を記したパンフレットを配布し、労働者の安全衛生教育に活用いただき事故防止の啓発に努めている。

なお、一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会の会員各社に全溶連会報誌発送時に日本溶接協会が作成したクリアファイルとパンフレット案内書を1,200部配布頂いた。

2. 講習会の開催

例年開催していた、「熱切断作業の品質と安全講習会」については、昨年度は新型コロナウイルスの影響により開催中止とした。本講習会は平成16年から実施しており、過去16回の開催で約1,130名が受講している。今年度は2022年1月28日に東京（秋葉原：溶接会館於）及びオンライン（WEB）にて開催を予定している。

◇日本乾式安全器工業会

日本乾式安全器工業会における活動報告について

コロナウィルス禍にあって当協会の事業については1年半の間、満足に活動できない状況であったが、今年度の事業報告を以下に報告する。



日本乾式安全器工業会 西田氏

(1) 事業期間・会員情報

期間：2020年4月1日～2021年3月31日

会員：9社

- ・岩谷瓦斯株式会社 ・小池酸素工業株式会社
- ・高圧ガス工業株式会社 ・株式会社坂口製作所
- ・信和ガス装置株式会社 ・株式会社千代田精機
- ・ヤマト産業株式会社 ・第一産業株式会社
- ・日酸TANAKA株式会社

(2) 事業内容

1) 講師の派遣

2020年10月～2020年11月の期間での活動であったが、保安講習会、防災訓練等を6回実施（前年度22回実施）

その間に乾式安全器の展示・パンフレット配布、設置の必要性、未設置の危険性の説明・逆火実験等のデモを実施。

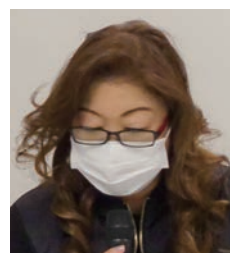
2) 業界紙による啓蒙活動

- ・自主点検及び定期点検の重要性と新品製品への交換をPR
- ・溶断用可燃性ガス全般を用いた溶断作業への乾式安全器の設置を推進

- ・更なる安全性向上を目的としてダブル安全装置を推奨

◇全国高圧ガス容器検査協会

- ①当協会に於いても直近2年間は他業界同様活動が出来ていない状況であるが、12月上旬に理事会を開催することになった。



全国高圧ガス容器検査協会 伊藤氏

水素燃料電池自動車の容器検査に関し、当協会の委員からの報告として、認証工場で行う検査と指定工場で行う検査は、従前より保安法に基づき実施していたが、水素燃料電池自動車に係る所轄は国土交通省となることから、一部継続して経産省扱いがあるものの、基本的には経産省所轄から外れるとのことである。今後については、検査場と共に認証工場が検査を行う事を残しつつ協議しているところである。

- ②昨年度報告した医療用FRP容器に関して、耐圧検査の基準が一昨年に3年から5年に変更となった事から、検査基準書の作成を来年度に実施することで進めている。

- ③今まで扱ったことが無い容器の検査を実施した際、耐圧容器内部に研磨用ショット玉の残留が確認された。この状況を推測するに外面研磨を行う際、バルブを外した状態で処理を行った事により研磨用ショット玉が容器内に残留したと思われる。

今後、研磨剤残留が発生した場合は、製造メーカーを特定し注意喚起を促すことで対応する。

◇高圧ガス容器工業会

資料も用意せず今回は勉強する立場で出席させて頂いた。

各業界の安全活動、啓蒙活動はますます重点な項目であり共に頑張っていきたい。



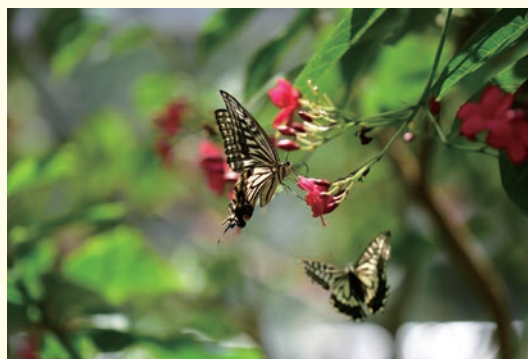
高圧容器工業会 小寺氏

最後に佐藤経済委員長より「本日頂いた貴重なご意見等を参考にしてさらなる保安確保に活かした活動を推進していく」ということで、第29回保安対策連絡会議を終了した。

第12回
写真コンテスト
佳作作品



佳作「霧の貴婦人と草紅葉」



佳作「飛来」



佳作「神龍湖秋模様」

佳作「霧の貴婦人と草紅葉」
太田秀城様（株式会社サイサン 川口配送C）
佳作「飛来」
藤原康次郎様（株式会社サイサン 敷島ガスワン）
佳作「神龍湖秋模様」
中森雅俊様（株式会社巴商会 笠岡営業所）

★優秀賞1名・佳作3名・
参加賞20名（総勢24名参加67作品）
ご参加ありがとうございました。

記念行事のお知らせ

九州高圧ガス流通保安連合会

行 事 名：九州高圧ガス流通保安連合会 創立70周年記念式典沖縄大会

予 定 日：2022年5月19日（木）～20日（金）

開 催 場 所：沖縄県

参加予定者：来賓・業界関係者・会員・報道 70名から100名

長野県高圧ガス協会

行 事 名：（仮称）長野県高圧ガス協会50周年記念大会

予 定 日：2022年度に開催の予定ですが現時点では、開催予定日、
場所等は未定です。

新春座談会 中止のお知らせ

新春座談会は「山口県高圧ガス溶材協会・一般ガス部会」を予定しておりましたが、
新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とさせていただきました。
何卒ご理解の程宜しくお願い致します。

単位組合紹介

四国高圧ガス協議会

所在地 〒760-0018 香川県高松市天神前10-12
 香川天神前ビル2F
 (一社)日本産業・医療ガス協会四国地域本部内
 TEL:087-813-4901 FAX:087-813-4900
 mail:info.shikoku@jimga.or.jp

会長 三浦栄之
 正会員数:42社 賛助会員数:16社



三浦会長

当協会は、穏やかな瀬戸内海と荒々しい黒潮の太平洋に囲まれた四県で構成されております。

昭和43年に徳島県単独で加入し、昭和59年に四国4県からなる「四国高圧ガス溶材組合連合会」を発足、翌年昭和60年に全溶連に加盟、その後平成6年4月1日に四国高圧ガス協議会に改称し、現在に至っております。

御多分に漏れず後継者問題やM&Aなどにより、会員数が減少傾向にあります。

四国高圧ガス協議会では、会員相互の自主保安体制の確立により、高圧ガスによる災害を未然に防止し、公共の安全を確保するとともに、会員相互及び関連産業の健全な発展に寄与することを目的としております。自主保安体制の強化を推進するため、消費者向けの高圧ガスを安全にご利用いただくための保安文書の提供、JIMGA四国地域本部との共催で毎年11月開催の「高圧ガス保安講習会」(4県持ち回り)、更に総会時の保安勉強会(不定期開催)、等を行っております。

全溶連会長の年始の挨拶では、「全国の高圧ガス消費者先様と直接結びついている組織として、高圧ガスの保安の確保の為にコンプライアンスの徹底と、設備の点検、自主保安体制の強化を図っていく必要がある」と表明しております。四国高圧ガス協議会では、「消費者先様における高圧ガスの安全・安心を図る」という基本を常に意識し、自主保安体制の強化と高圧ガスの事故を無くす取り組みを、もう一段進めるために、以下の4項目を重点に活動しています。

1. 高圧ガス保安法に基づく「周知義務」の履行と徹底
2. 四国高圧ガス容器管理委員会・JIMGA四国地域本部と連携し、保安意識向上活動の推進
3. 高圧ガス不明容器処理の対策・推進
4. 全溶連委員会活動内容の会員様への保安情報の伝達

四国高圧ガス協議会並びに四国高圧ガス容器管理委員会は、日本産業・医療ガス協会四国地域本部に事務局を委託しておりますので、3団体の保安情報等を迅速に消費者先様に伝達することができます。また、各団体の会員様には、この三団体の保安情報の伝達や会議会合の日程を調整することにより、経費(交通費・場所代)や開催日程によるロスを減らし、各団体の会員様のご負担を軽減するよう心掛けております。

コロナ禍により不測の事態に陥り、観光・飲食業や経済活動も停滞、医療機関もパニックを起こしていました。しかし、高圧ガス保安については待ったなしです。今後PCBの策定、オンラインでの会議・講習会開催など、インフラ構築を各会員様と整備して、今後起こりうる可能性の高い自然災害に対しても防災・減災に備え、更には高病原性鳥インフルエンザなどの防疫活動等にも協力して参りたいと考えております。



委員会報告

2021年7月～12月

経済・保安合同ワーキング

日 時 2021年10月22日(金)14:00～16:00

場 所 全溶連事務所

出席者 石川副会長、佐藤経済委員長、大岡保安委員長、鈴木保安副委員長
 オンライン参加：柳田保安副委員長
 事務局：2名

議 題

1.各委員会における開催方法のアンケート集計結果について

アンケート調査の結果、各委員会の開催は対面形式とオンライン（ハイブリッド形式）による方が良いとの回答を得たことから、今後、全溶連とハイブリッド形式によるオンラインで進めることとしたい。

2.ハイブリッド会議開催の対応について(テスト)

会議を開催する前に、柳田保安副委員長とのオンライン接続を確認し、会議が開始された。

テストに際しては、全溶連をホストとして各WG委員へ事前にZOOM会議招集の案内を行い、招集開始時間に開催することでテストを開始した。

今後、メルパルクホテルでの開催が円滑に行えるよう検証していきたい。

今回のテスト結果として、対面会議に参加できない人々とオンラインを利用することにより、会議の状況を確認できるとともにハイブリッド方式で参加する方たちの意見を確認できたので、今後の活用方法について検討していきたい。

3.保安文書類の改訂について

- ・一般高圧ガス販売時マニュアル（全溶連在庫なし）

販売時マニュアルは、新入社員教育の中で高圧ガスを取り扱う上において重要な保安資料であることから、現行法と照らし併せ見直しを図り経済委員会が主体となって改訂版を作成する事としたい。

- ・バルブ付き継ぎ目なし高圧ガス容器

表紙に掲載されているボンベの写真は、ボンベに表示されている文字色が異なっていることから、(表示色が黒文字(誤)⇒表示色を白

色(正) 今後、増刷するに当たっては、見直しも視野に入れ保安委員会にて検討していく。

経済委員会

日 時 2021年11月18日(木)14:00～16:30

場 所 メルパルク東京 4階 白鳥の間

出席者 石川副会長、佐藤委員長、小宮委員、松原委員

オブザーバー：大岡保安委員長、事務局2名、保険会社2名

オンライン参加：廣瀬経済副委員長、小林委員、吉住委員

議 題

1. 2021度経済委員会活動方針について

1)賠償責任保険制度の普及について

関連業界、団体との共同事業推進と教育支援資料の提供、賠償責任保険制度の普及を中心に活動していく。

2)保安契約について

保安契約の推進の取り組み強化については、前年度と同様に保安委員会と合同で取り組む。

また、JIMGAとの共通テーマになっており今後も注視していきたい。

3)容器指針の策定推進について

各都道府県に於いて指針を作成しているが、現状では47都道府県すべてが策定されている。

内容についてはJIMGAのホームページに掲載されているので閲覧いただきたい。今後も保安委員と合同にて取り組んでいく。

4)教育資料の提供について

教育支援資料の提供については、販売店の社員に対し高圧ガスの取り扱いを含めレベルアップを図っていく。経済委員会・保安委員会・経済保安WGと連携をとりながら対応を行っていく。

5)経済動向、市況調査に関する情報の共有化について

- ・新型コロナウイルス感染による地域経済活動
- ・鳥インフルエンザは11月に秋田、鹿児島、兵庫において発生しているが、緊急時供給用の炭酸ガスの供給対応は行政と協力の基に取り組んでおり、連絡、供給に不整備な地域に



撮影時のみマスクを外しています。

については対応課題として取り組み今後も見直しを図っていく。

2. コロナ禍における常置委員会の開催について

9月末に解除された緊急事態宣言に伴って2021年度各委員会開催方法について、7委員会21名へのアンケート調査を実施した。

調査結果は、1年前と比較して必要性の認識と環境整備も進んでおり、一部環境が整っていないケースがみられるものの委員会構成のメンバーには事務局より環境の整備をお願いしたい。

経済委員会として常置委員会にハイブリッド方式を用いた会議の開催が可能である旨の提案を事務局を通じて発信していきたい。

3. 一般ガス販売時マニュアルの改訂について

販売時マニュアルは、高圧ガスの取り扱いにおいて重要かつ必要な保安資料であることから、現行法と照らし合わせ内容の見直しを図り改訂版を検討する必要がある。このことから、経済委員会が主体となって改訂版を作成する事としたい。作成に際しては、単位組合に見直しに対する希望、要求等の意見を聞くこととし、経済委員会としては一般ガス販売時マニュアルの改訂版を作成することで進めたい。

4. 「事業継続力強化計画」認定制度について

近年気候変動等の影響により、自然災害が全国で発生している。加えて近い将来、南海トラフ地震や首都直下型地震といった巨大地震が予測されており、全国各地で雪害や竜巻、火山の

噴火等様々な自然災害に伴うリスクも想定される。このような自然災害によるリスクを想像し、対策に向けて支援する制度が経済産業省の取り組みである。

今回、三井住友海上殿より紹介いただいた「事業継続力強化計画」認定制度について、経済委員会としては推奨することとし、全溶連事務局を窓口として進める事とした。

厚生委員会

日時 2021年12月15日(水) 14:00～16:00

場所 メルパルク東京 4階 白鳥の間

出席者 深尾会長、土田厚生委員長、中條委員、野村委員、峰委員、事務局2名、保険会社2名
オンライン出席者：吉田副会長、上野厚生副委員長、近藤委員、嶋野委員

議題

1. 2021年度厚生委員会活動方針について

事業計画は、福祉共済制度 団体定期保険、傷害補償、医療補償、長期障害所得補償の充実を基本に活動していく。

① 団体定期保険増強キャンペーンの推進

2019年10月～2021年3月の一年半でキャンペーンを行っていたが、新型コロナ感染対策防止策により途中で中止となったことから、改めて2021年10月～2023年3月の間にて第9回目のキャンペーンを実施し、第90回全溶連大会で表彰する。

② 傷害補償、医療補償、長期障害補償の加入促進



団体傷害保険については、1月は1,556名、8月の現在では1,551名と5名減少となった。医療補償については、加入目標 150名に対し2021年10月現在148名加入頂いており、目標達成に2名というところまで来ている。

長期障害所得補償制度（GLTD）は注目されており、これからの働き方にピッタリの制度であるが、制度導入以来、2社から増えていないので加入検討をお願いする。

③その他

日本生命より、団体定期保険の拡充を図る施策として制度の安定的な運営または発展のために貢献したいと考えており、各単位組合においての会議や会合等の場において、この福祉共済制度のご説明に訪問することで対応したい。

広報委員会・組織委員会

広報委員会・組織委員会は書面決議となりました。

全溶連のホームページがリニューアル!!



スマホで
簡単アクセス



全溶連のホームページを全面リニューアルしました。

ご利用いただく会員様により見やすく、分かりやすく情報をお伝えできるホームページに改善いたしました。

また、コロナ禍においての行事予定などは、喫緊の状況に合わせて変更する事がございます。全溶連ホームページは、常に最新の情報に更新いたします。

これまで以上に会員様に役立つホームページを目指して運用していきますのでよろしくお願いいたします。

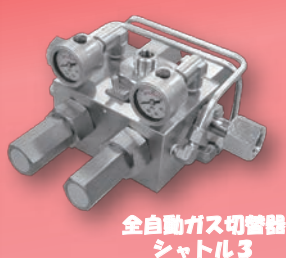
<https://zenyoren.com/>

全溶連 検索

賛助会員の広場



ガスの切替、自動化しませんか？ 圧力制御の未来を志向する



ヤマト産業株式会社



本社・工場 〒544-0004 大阪市生野区巽北4丁目11番17号 TEL(06)6751-1151 FAX 06-6752-0577
大阪・東京・名古屋・札幌・仙台・つくば・上尾・四国・広島・小倉・テクノセンター

⑪ 新JIS認証ケーブルジョイント

CSシリーズ

C9300-12を
国内・世界で
初認定！

認証番号
JE0510002

- 耐熱性・耐候性がさらにアップ！
- 高寿命でゴムカバー
交換コストを削減！

- ゴムカバーの耐熱性において難燃性試験規格であるUL94規格のもっとも厳しい、94V-0試験に適合。
- 耐候性はオゾン劣化試験により168時間でゴム表面キ裂なしの評価結果を得ています。従いまして、耐候性は従来品の約3倍～5倍以上の評価があります。
- 本体金具には、他ケーブルジョイントにも採用中のソケット金具割入り方式により、プラグ・ソケット本体の脱着がスムーズになりました。



形 式	適用電流 (A)	適用電線 (mm ²)	電線接続方式	備 考
CS300	300	22~50	ネジ止、圧着式又は半田式	JA300タイプ
CS500	500	50~80	ネジ止、圧着式又は半田式	JB500タイプ
CS19L・ネジ止	300	38~60	ネジ止	NK19タイプ
CS19L・半田	300	38	半田	NK19タイプ
CS22L・60ネジ止	500	60	ネジ止	NK22タイプ
CS22L・80ネジ止	500	80	ネジ止	NK22タイプ



⑪ 表示認証 JE0508028 (溶接棒ホルダ)
⑪ 表示認証 JE0510002 (ケーブルジョイント)
※全国の有名溶材商社でお求め下さい。

三立電器工業株式会社

本社・工場 〒551-0031 大阪市大正区泉尾6丁目5番53号 TEL.06(6552)1501(代表) FAX.06(6552)7007

高圧ガスに係る川柳募集のご案内

今般、日々の業務に於いて高圧ガスを扱っている皆さんから、高圧ガスに係る川柳募集を企画致しました。サラリーマン川柳のような、ウィットに富んだ作品を、気軽にご投稿いただければ幸いです。

優秀作品は商品券を贈呈の上、機関誌とホームページで公開させていただきますので、奮ってのご応募をお待ちしております。

なお川柳自身の賞位にかかわらず、各作品をヒントに機関誌連載の4コマ漫画としてコミカライズも検討されますので、我と思わん方はどしどし投稿して下さい。

応募作品：テーマは高圧ガスに関わる内容で、高圧ガスあるある、ガスの取り扱いに際して疑問に思う事、不思議に思う事、困った事、危険だと思ったこと、良かったと思う事、等々日常におけるどのような出来事でも結構です。

ご応募に際しては、一人3点迄応募できます。

但し、他のコンテスト未応募作品で著作権などの権利全てが応募者に帰属するものに限りません。

なお、応募作品には「会社名」「氏名」を必ず明記のうえご応募をお願い致します。

また、川柳以外に事故現場、危険現場等の写真がありましたら併せて投稿いただければ幸いです。投稿写真につきましては背景や名前については隠させていただきますが、全溶連への著作権または使用权の譲渡が可能な作品とします。

応募資格：全溶連会員及び会員の従業員

応募方法：全溶連事務局あてにメールにて応募ください。

表 彰：最優秀賞 1名 商品券 5千円
優秀賞 若干名 商品券 3千円
参加賞 入賞者以外の応募者全員の方にクオカード1,000円分を贈呈致します。

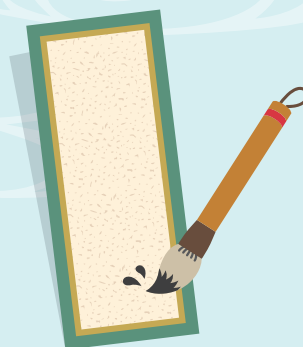
選 考：全溶連事務局にて選考

締め切り：2022年2月28日(月) 必着

送 り 先：〒101-0036 東京都千代田区神田北乗物町12大竹ビル
一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

E-mail：honbu@zenyoren.com及びhonbu2@zenyoren.com

作 品 例：「鳥インフル 炭酸ガスで 殺処分」
「ガス積んだ トラック駐めて 講習会」
「使用料 ちりも積もれば 瓶買える」



あいおいニッセイ同和のおクルマ購入 サポートサービスのご案内 ～どなたでもご利用可能です～

おクルマを購入の際は、同封のちらしで
お知らせください。成約後に紹介謝礼として、
ご紹介者またはご購入者に **ギフト券** を
差し上げています。ぜひご利用ください！

購入ディーラーがまだ決まっていない場合



全ディーラーが対象です
認定中古車も対象です
トラック、リース車両なども対象です

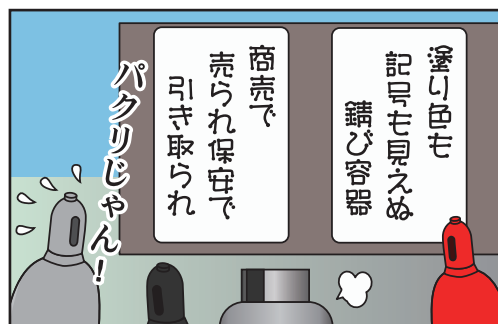
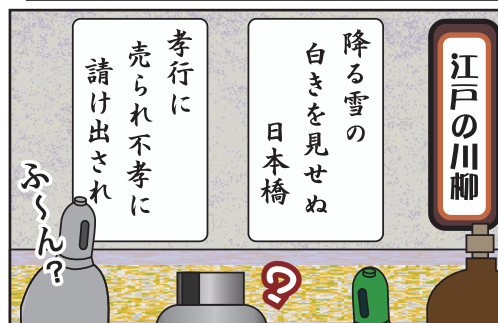
※購入予定の情報は商談開始前にお知らせください。商談開始後にご連絡
いただいた場合は対象外となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

ご利用Q&A

- Q. 紹介してくれる自動車ディーラーとはどのようなディーラーですか？
A. あいおいニッセイ同和損保と取引のある自動車ディーラーをご紹介します。
あいおいニッセイ同和損保が皆様の商談をバックアップします
- Q. このサービスは誰でも利用できますか？
A. ご家族やご親戚、知り合いやご友人の方など幅広くご利用いただけます。
- Q. 商談の結果、断りを入れても問題ないですか？
A. 商談開始後でもお心変わりなどの場合は、遠慮なくお断りいただいて結構です。

ぼくはボン兵衛くん

原作：封過(ふうか) 作画：ひくせん
第三十六話 「川柳かぶれ」の巻



スマホでも読める新しい情報源

電子版
S ガスメディア
Weekly

毎週火曜日配信(週刊)
カラー電子版

購読料

6ヵ月：10,000円 1年：20,000円(税別)

産報出版は、ガス全体を網羅した新たなメディアとして、週刊『電子版ガスメディア』を創刊いたしました。産業用、医療用から、都市ガス、LPガスなどの一般情報まで、ガスに関するあらゆる情報を幅広く掲載し、国内外の最新動向をきめ細かく発信します。

産報出版株式会社

●東京本社：TEL：03-3258-6411 FAX：03-3258-6430
●関西支社：TEL：06-6633-0720 FAX：06-6633-0840

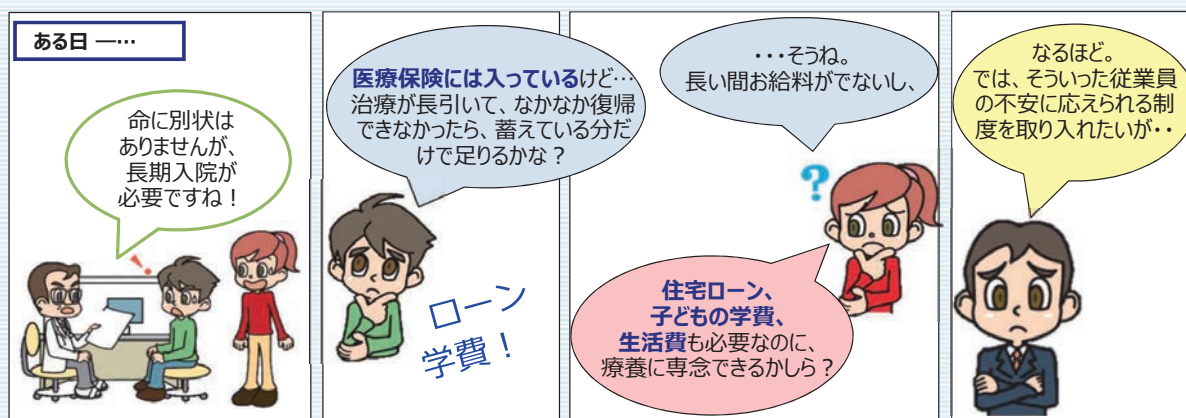


団体割引
20%適用

長期収入サポート制度（全溶連GLTD制度）のご案内

（団体長期障害所得補償保険）

病気やケガで働けなくなった場合に**長期で収入を補償する制度**です。
連合会としてまとめて加入することで、割安な保険料での準備が可能です。
御社の福利厚生の拡充のため、制度導入をご検討ください。



そんなときに！！

全溶連GLTD制度

POINT

- 免責期間と補償期間の組み合わせで8つのタイプから選択可能。
- 健康状態告知は全員加入一括告知書を採用（既往症があっても通常勤務されていれば加入可能）。

福利厚生の更なる充実や、自助努力への第一歩として、ぜひ企業さまでの導入をご検討ください



勤務先に「GLTD制度」があつて本当に良かった！

長いリハビリ中も、収入の心配もなく元氣になって良かったわ



よし！当社も導入しよう！



GLTDについてのお問い合わせはこちらまで

取扱代理店
株式会社 星和ビジネスリンク
TEL 0120-288-270

引受保険会社
【幹事】あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
広域法人開発部 営業課
TEL 03-6734-9608
【非幹事】日本生命保険相互会社

このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ず「長期収入サポート制度（全溶連GLTD制度）のご案内」および「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり（普通保険約款・特約）」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。健康状態告知書質問事項の回答内容や加入申込票記載事項（年齢・他保険加入状況・保険金請求履歴等）等により、ご契約のお引受けをお断りしたり、引受条件を制限させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。この保険は全国高圧ガス溶材組合連合会を保険契約者とし、連合会会員企業の従業員を加入者とする団体長期障害所得補償保険の団体契約です。

（2021年12月承認）B21-103399

発行所

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

東京都千代田区神田北乗物町12（大竹ビル） Tel.03-5296-0430 Fax.03-5296-0435

http://www.zenyoren.com/ e-mail:honbu@zenyoren.com